

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」一部改正（2022.4.1 施行）

対応「情報公開文書」フォーム

単施設研究用

次世代シーケンサーを用いたマイコプラズマの伝播経路予測

1. 研究の対象

2023年4月～2023年7月までに、急性呼吸器症状のため、防衛医科大学校病院を受診した防衛医科大学校に所属する学生30名について、病原体遺伝子検査でマイコプラズマが検出された方を対象とします。

2. 研究目的・方法・期間

肺炎マイコプラズマ (*Mycoplasma pneumoniae*) は急性呼吸器感染症の原因となり、飛沫感染により伝播します。マイコプラズマは比較的濃厚な接触により拡大すると考えられ、特に閉鎖集団などで集団感染が問題となります。防衛医科大学校においても2023年4月～7月に急性呼吸器症状を訴える学生が医大病院を受診しており、うち一部の患者から迅速抗原検査にてマイコプラズマが検出されたことから、学内で集団発生していた可能性があります。

近年では、より低コストにウイルスの全遺伝子情報が取得できる次世代シーケンサーが開発されたことにより、陽性者の情報だけでなく、検出された病原体の遺伝子情報を用いることで、より正確に伝播経路を予測する試みが行われています。

我々の研究グループでは、期間中に防衛医大を受診した30名の防衛医科大学校に所属する学生からとられた咽頭ぬぐい液検体の残余を解析し、マイコプラズマが検出された方について、発症時期や検体を採取した日付情報とあわせて、マイコプラズマがどのように広がっていったかを分析する試みを行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究はあなたの診療情報のうち、年齢、性別、発症日、検体採取日などを調査し、その結果はすぐには個人を特定できないように加工して利用します。

4. 研究に用いる試料・情報の管理についての責任者

試料・情報の利用については、研究用のID番号を作成し、すぐには個人を特定できないように加工したもの（仮名加工情報）を作成します。作成時の情報については研究責任者が厳重に管理します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

資料 3

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありませんが、既に発表・公表した内容については変更ができない場合もありますのでご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：埼玉県所沢市 3-2 防衛医科大学校病院

電話：04-2995-1511（内線 3405） 平日 09:00-16:00

所属・氏名：医療安全・感染対策部 藤倉雄二（研究責任者）